

Ⅱ 平成28年度みえスタディ・チェックの結果分析報告（小学校算数）

1 集計結果

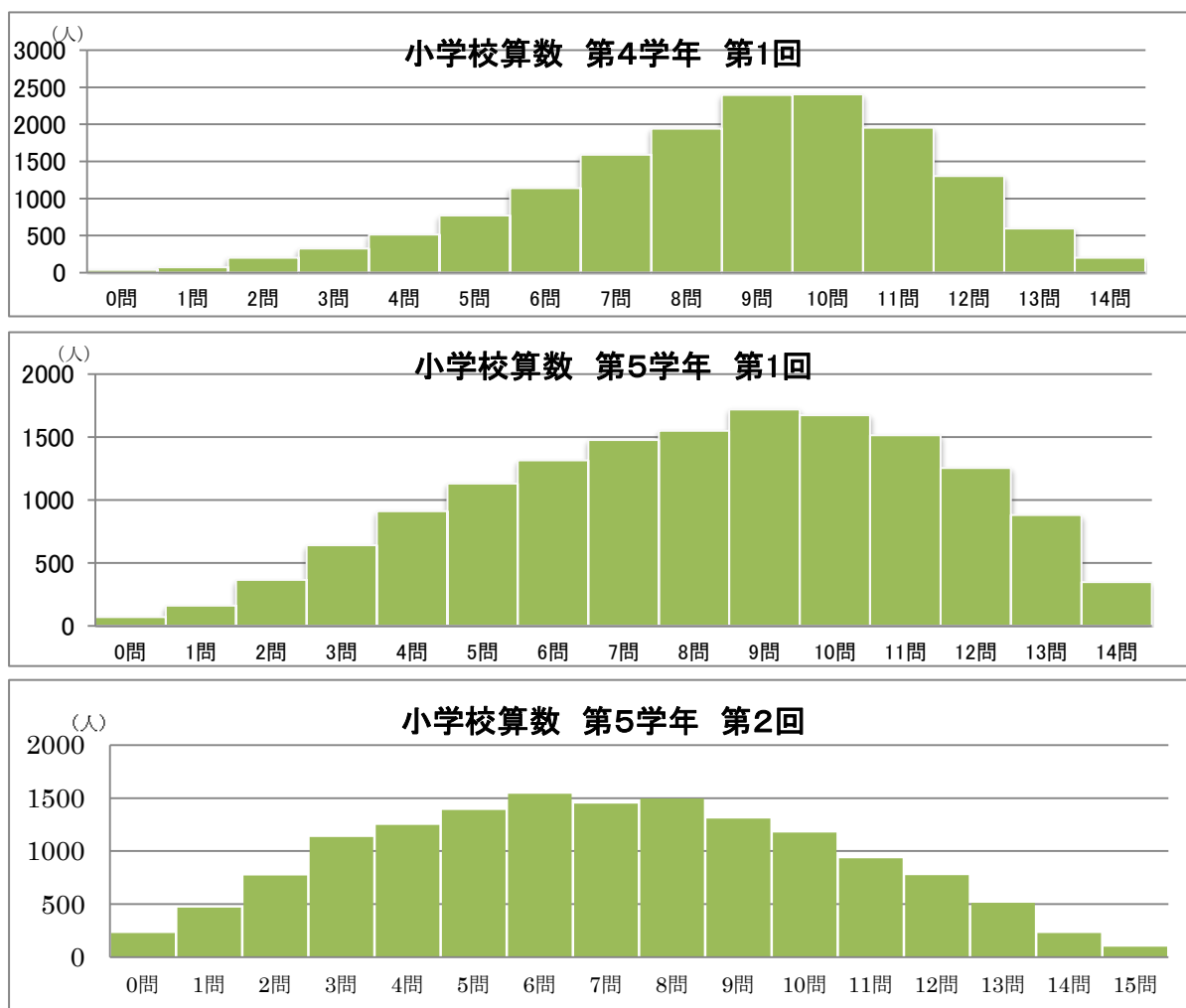
（１）平均正答率及び領域別平均正答率

	平均正答率	領域別			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
第4学年 第1回	62.0%	72.4%	52.7%	59.6%	49.5%
第5学年 第1回	58.5%	53.4%	46.7%	62.0%	75.7%
第5学年 第2回	47.1%	52.1%	34.8%	47.9%	53.5%

（２）平均無解答率及び問題形式別平均無解答率

	平均無解答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第4学年 第1回	2.4%	2.6%	1.7%	5.4%
第5学年 第1回	5.3%	1.4%	4.3%	13.9%
第5学年 第2回	3.4%	2.0%	2.5%	6.9%

（３）正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：児童数）



(4) 設問別集計結果

① 第4学年 第1回

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			3点セットとの関連			正答率	無解答率
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形について	数量や図形について	選択式	短答式	記述式	全国学調の問題	みえスタディ・チェックの問題	ワークシート		
1	(1) 繰り上がりのある加法「(3位数)+(2位数)」の計算をすることができる	3A (2)7					○			○		H24 A (1)	H27 小4 10月 1(1)(2)	平成21年～平成23年 配付の学習教材 第3・4学年 筆算 「たし算とひき算の筆算」	92.9%	0.1%
	(2) 乗法「(2位数)×(1位数)」の計算をすることができる	3A (3)7					○			○		H20 A 1(2) H26 A 1(2)	H26 小3 2月 1	平成21年～平成23年 配付の学習教材 第3・4学年 筆算 「かけ算の筆算」	87.7%	0.4%
	(3) 十進位取り記数法について理解している	3A (5)7					○			○		H20 A 2(1)		平成21年～平成23年 配付の学習教材 第3・4学年 はしたの表し方 「小数」	70.8%	0.8%
2	(1) 長さについての感覚が身に付いている		2B (1)7	3C (1)7				○	○			H21 A 3 H24 A 5	H26 小2 2月 2(1)		70.6%	0.4%
	(2) 日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる		3B (3)7				○			○		H27 A 3 H23 A 3(2)	H27 小4 10月 2(1) H26 小3 10月 1	平成21年～平成23年 配付の学習教材 第3・4学年 時と時刻 「時と時刻①」	68.3%	1.5%
	(3) 二等辺三角形の定義や性質について理解している			3C (1)7				○		○		H22 A 7 H19 A 6(2)			42.8%	3.1%
	(4) 除法の式の意味について理解している	3A (4)7			3D (1)		○		○			H26 A 8 H19 A 4	H26 小3 7月 3(2)	平成26・27年度 第3学年 A数と計算 (整数の除法) 「答えをもとめるしきから、問題を考えよう」	87.5%	1.5%
3	(1) 示された場面の問題を、除法(商)を用いて解決することができる	3A (4)7				○				○			H26 小4 7月 1	平成21年～平成23年 配付の学習教材 第3・4学年 かけ算とわり算「あまりのあるわり算②」	58.6%	1.9%
	(2) 示された場面から規則性を見だし、問題解決のために除法(余り)を用いることができる	3A (4)7				○				○				平成26年度 37 第3学年 数と計算 (整数の除法) 「すわるじゅんぱんのきまりを見つけよう」	64.2%	2.5%
4	(1) 棒グラフから、必要な情報を読み取ることができる				3D (3)7			○		○		H25 A 9	H27 小4 10月 2(4)	平成26年度 25 第3学年 数量関係 (表や棒グラフ) 「ほうグラフを読み取ろう」	86.0%	1.4%
	(2) 目盛りの異なる2つの棒グラフの棒の示す大きさを読み取り、示された事柄の間違いを説明することができる【理由】				3D (3)7	○					○		H27 小4 10月 2(4)		15.1%	3.3%
5	(1) 基本的な空間図形を展開図から構成できる		2B (1)7	2C (1)7				○		○		H22 A 6			65.5%	3.8%
	(2) 示されたきまりを基に3辺の長さの和を求め、その数が含まれる範囲を考えて表を読むことができる	2A (1)7 (2)7	2B (1)7		3D (1)7		○		○			H23 B 1			44.8%	5.8%
	(3) 条件に対応して表を読み、示されたきまりを基に送料を判断して、その考えを記述することができる【事実】		2B (1)7 3B (1)7		3D (1)7	○					○	H23 B 1			14.1%	7.6%

② 第5学年 第1回

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			3点セットとの関連			正答率	無解答率
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量の技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	全国学調の問題	みえスタディ・チェックの問題	ワークシート		
1	(1) (2位数)÷(1位数)の除法の計算をすることができる	3A (4)ウ					○			○		H24 A 1(2)	H27 小4 10月 1(3) H26 小4 10月 3	平成26・27年度 第4学年 A数と計算 (整数の除法) 「わり算の商の立て 方をたしかめよう」	93.9%	0.5%
	(2) 十進位取り記数法の仕組みについて理解している	3A (3)7 4A (5)7						○		○		H27 A 1(2)	H26 小5 7月 3		58.4%	1.3%
	(3) 減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				4D (2)7		○			○		H26 A 1(5)	H27 小5 10月 1(4)	平成21年～ 平成23年配付の 学習教材 第3・4学年 計算のきまり 「計算のきまり①」	82.8%	0.5%
	(4) 示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している	4A (2)イ					○		○			H25 A 2	H27 小5 10月 3	平成21年～ 平成23年配付の 学習教材 第3・4学年 が「数 「がい数①」	55.8%	0.8%
2	(1) 補角の大きさを求めることができる		4B (2)74				○		○			H22 A 5(1)	H26 小4 11月 4(2)		61.8%	0.6%
	(2) 立方体を展開図から構成できる			4C (2)7 2C (1)ウ				○	○			H27 A 6(2)	H27 小5 2月 4(1)	平成26・27年度 第4学年 C図形(図形) 「立方体をつくらう」	66.4%	0.5%
	(3) 資料を二つの観点から分類整理して表された表を読むことができる				4D (4)7			○	○			H21 A 8	H27 小5 2月 5 H26 小4 11月 3	平成26・27年度 第4学年 D数量関係 (資料の分類整理) 「表に整理して説明しよう」	84.1%	0.5%
3	(1) L字型の図形の面積の求め方を式で表すことができる		4B (1)イ		4D (2)7		○			○		H19 B 1(2)	H26 小4 2月 3(2)		60.3%	8.2%
	(2) 示された長方形の台紙を敷き詰めるために必要なカードの枚数を求める方法を記述することができる【方法】	4A (3)イ	4B (1)74			○					○	H21 B 4(2)			38.6%	21.0%
4	(1) 与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択することができる		3B (3)イ			○				○		H21 B 3(1)	H27 小4 10月 2(1)	平成26・27年度 第3学年 B量と測定 (時間の単位) 「どれだけかかるか考えよう」	25.1%	11.5%
	(2) 示された時間の範囲から、目的に応じて所要時間の見当を付けることができる	4A (2)7	3B (3)イ			○				○		H24 B 4(2)			38.5%	3.9%
	(3) 示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述できる【理由】	4A (2)7	2B (2)ウ			○			○		○	H26 B 3(3)			35.3%	4.3%
5	(1) 開け閉めする棚のとびらの動きが、円の一部分であることを見いだすことができる		4B (2)7	3C (1)ウ				○	○			H20 B 1(1)		平成21年～ 平成23年配付の 学習教材 第3・4学年 円「円」	67.3%	4.8%
	(2) 示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することができる【方法】			3C (1)ウ		○		○			○	H21 B 1(3)	H27 小4 10月 2(3)	平成26・27年度 第3学年 C図形(図形) 「ボールがきちゃんと 入るはこを考えよう」	52.2%	16.5%

③ 第5学年 第2回

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			3点セットとの関連			正答率	無解答率
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形について	数量や図形について	選択式	短答式	記述式	全国学詞の問題	みえスタディ・チェックの問題	ワークシート		
1	(1) 小数の乗法と整数の乗法の関係を理解している	4A (5) 7 5A (3) 1						○		○		H28 小A 1 (2)	H28 小5 第1回 1 (2)		29.3%	0.4%
	(2) 異分母の分数について加法の計算をすることができる	5A (4) 1					○			○		H26 小A 1 (6)		平成21～23年配付の学習教5・6年数と計算「分数のたし算とひき算①」	83.3%	1.3%
	(3) 何倍かを求めるために除法が用いられることを理解している	5A (3) 7						○		○		H20 小A 4 (2) H26 小B 2 (1)	H27 小5 第2回 2		29.8%	2.7%
	(4) 除法について、被除数、除数、商及び余りの関係を理解している	4A (3) 1						○	○			H25 小A 3		平成26・27・28年度第4学年A数と計算（整数の除法）「答えをたしかめる式から、わり算を考えよう」	66.2%	1.6%
2	(1) 異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、その表し方や比べ方を理解している		5B (4) 7					○	○			H25 小A 4	H27 小5 第2回 3 (2)	平成26・27・28年度第5学年B量と測定（割合量あたりの大きさ）「どの部屋に泊まろうかな。混み具合について考えよう。」	31.5%	0.6%
	(2) 示された図に即して説明の意味を理解し、四角形の内角の大きさの和の求め方を理解している			5C (1) 1				○		○		H21 小A 5 (1) H24 小A 6 (1)	H28 小5 第1回 2 (1)	平成21～23年配付の学習教5・6年量と測定・図形「図形の角」	43.0%	4.7%
	(3) L字形の図形の面積の求め方を表す式を読み取ることができる		4B (1) 1		4D (2) 7		○		○			H19 小B 1 (2)	H28 小5 第1回 3 (1)	平成21～23年配付の学習教5・4年面積「面積③」	57.6%	1.3%
3	(1) 示された3つの棒グラフから、必要な情報を読み取ることができる				3D (3) 7		○		○			H22 小B 3 (1) H25 小A 9 H25 小B 5 (1) H28 小B 2 (3)	H27 小4 第1回 2 (4) H27 小5 第2回 6 (1) H28 小4 第1回 4 (1)	平成26・27・28年度第3学年D数量関係（表とグラフ）「ぼうグラフから読み取ろう」	32.9%	0.8%
	(2) 二次元表の中の数表す事柄を2つの項目と単位に着目して読み取り、その内容を記述することができる【事実】				4D (4) 7		○			○		H22 小B 3 (2) H28 小B 4 (2)	H27 小5 第2回 5 H28 小5 第1回 2 (3)	平成26・27・28年度第3学年D数量関係（資料の分類整理）「表にして説明しよう」	68.1%	5.6%
	(3) 二次元表に示された数の意味を考え、棒グラフと関連付けることができる				3D (3) 7 4D (4) 7	○			○			H22 小B 3 (3) H26 小B 2 (3)			76.1%	1.0%
4	(1) 求められる単位に注意し、長方形の面積を適切に求めることができる		4B (1) 7					○		○		H24 小A 5 (1) H27 小B 5 (1) H27 小B 5 (2)	H27 小5 第1回 2 (1)	平成21～23年配付の学習教3・4年面積「面積①」	12.8%	3.3%
	(2) 示された場面の解決方法を理解し、別の場面の解決方法を考えることができる【方法】			3C (1) 1		○					○	H24 小A 7 H27 小A 5 (1) H28 小B 3 (3)	H27 小4 第1回 2 (3) H28 小5 第1回 5 (2)	平成26・27・28年度第3学年D図形（図形）「ボールがきちんと入るはこを考えよう」	52.8%	7.0%
	(3) 示された情報を基に休憩時間を入れながら5試合することのできるかどうかを、卓球台を使用できる時間と比較して判断し、その理由を言葉と式を用いて記述することができる【理由】		3B (3) 1 5B (4) 7			○			○		○	H24 小B 4 (2) H26 小B 3 (3)	H28 小5 第1回 4 (2)		37.3%	2.9%
5	(1) 示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することができる【方法】				3D (2) 7 4D (2) 7	○					○	H20 小B 4 (2) H24 小B 2 (1) H25 小B 2 (2)		平成26・27・28年度第4学年D数量関係（式による表現）「問題を読んで、1つの式を表しましょう」	28.0%	11.8%
	(2) 計算の工夫を読み取り、それを用いて他の問題に適用することができる				4D (3) 7		○		○			H19 小B 2 H26 小B 1 (2)	H27 小5 第1回 2 (4)	平成26・27・28年度第3学年D数量関係（四則計算の性質）「計算のきまりをたしかめよう」	58.0%	6.4%

2 みえスタディ・チェックの課題等、指導改善のポイント

(1) 各教科の具体的な課題等

(○：選択 ◎：短答 ☆：記述)

		強み (相当数の児童ができています)		弱み (課題のある点)	
第4学年	第1回	1(1)	◎繰り上がりのある加法「(3位数) + (2位数)」の計算をすること。	4(2)	☆目盛りの異なる2つの棒グラフの棒が示す大きさを読み取り、示された事柄の間違いを説明すること。
		1(2)	◎乗法「(2位数) × (1位数)」の計算をすること。	5(3)	☆表の見方を理解していること。きまりに基づいて筋道を立てて考えること。(無解答率も高い) 【問題掲載】
第5学年	第1回	1(1)	◎ (2位数) ÷ (1位数) の除法の計算をすること。	4(1)	◎与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択すること。【問題掲載】
		2(3)	○資料を二つの観点から分類整理して表された表を読むこと。	4(3)	☆示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述すること。
第5学年	第2回	1(2)	◎異分母の分数について加法の計算をすること。	4(1)	◎求められる単位に注意し、長方形の面積を適切に求めること。
				5(1)	☆示された解決方法を基に、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述すること。【問題掲載】

(2) 全体の傾向

- 基本的な加法、減法、乗法、除法の計算をすることができている。
- 減法と加法の混合した整数の計算をすることができている。
- 資料を二つの観点から分類整理して表わされた表を読み取ることができている。
- 記述式問題の無解答率が高い。特に小学校5年生において高い状況である。
- グラフから必要な数量を読み取り、示された考え方が正しいかどうかを判断し、その理由を数学的に表現することに課題が見られる。
- 示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することに課題が見られる。

(3) 指導改善のポイント

第4学年 第1回 5(3)	・<u>図や表から必要な情報を読み取り、複数の条件を基に筋道を立てて考え、その考えを数学的に表現することに課題が見られる。</u>改善するためには、問題を解決する際に筋道を立てて考え、その筋道を説明できるようにすることが大切である。また、複数の条件があるいくつかの事象を提示し、それらを比較する流れを説明する活動を取り入れることが大切である。 →平成19年度～26年度 全国学力・学習状況調査問題より作成したワークシート23番
第5学年 第1回 4(1)	・<u>条件を考慮して筋道を立てて考えることに課題が見られる。</u>改善するためには、答えが複数ある問題を取り上げ、すべての答えを見付けられなかった児童には、問題の解決に必要な条件をすべて考慮できているかを確認したり、条件と照らし合わせて答えを見直したりする場を設定することも大切である。 →平成21～23年配付の学習教材3・4年面積「面積」
第5学年 第2回 5(1)	・<u>示された解決方法を基に、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することに課題が見られる。</u>改善するためには、日常生活での様々な計算の工夫を授業に取り入れ、その式が何を表しているのかを確認するとともに、計算の工夫について話し合う場面の設定が大切である。 →平成26・27・28年度第4学年D数量関係(式による表現)「問題を読んで、1つの式を表しましょう」

【第4学年 第1回 5(3)の問題】

5 かずきさんたちは、図画工作の時間に作った作品を、てんらん会の会場に送ることになりました。

(1) かずきさんは、6つの面がどれも長方形である**図1**の形を組み立てて、作品を入れる箱を作ります。

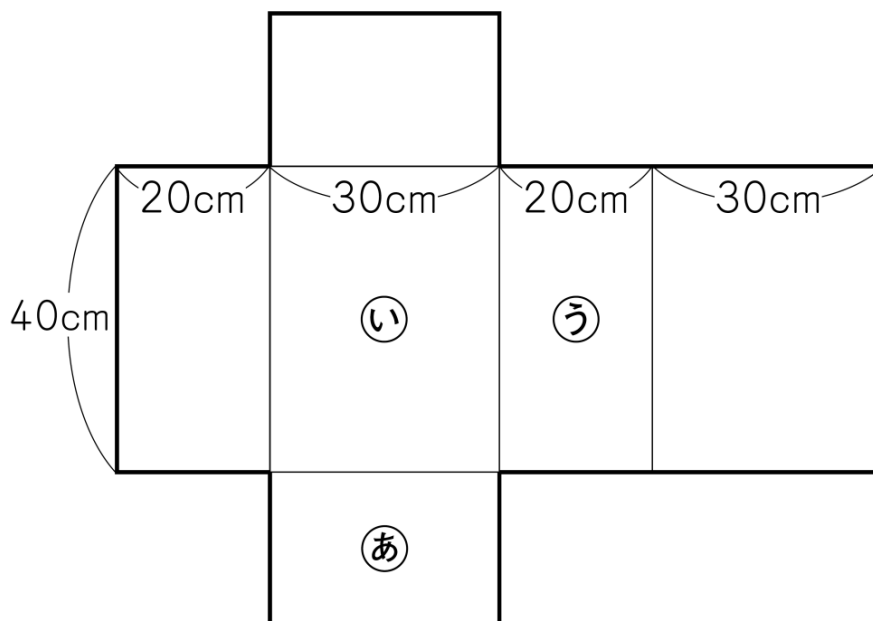


図1

箱を、**あ**、**い**、**う**の面が**図2**の位置になるように組み立てました。

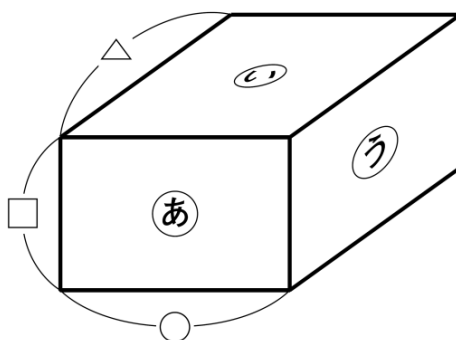


図2

図2の□の辺の長さは何cmですか。答えを書きましょう。

(2) みつきさんは、作品を送る会場までの荷物の^{そうりょう}送料を調べました。東社の送料は下の表のようになっていました。

会場までの荷物の送料(東社)

サイズ	3辺(図3の●と■と▲の位置の辺)の長さの合計	重さ	送料
60サイズ	60 cmまで	20 kgまで	600 円
80サイズ	80 cmまで		800 円
100サイズ	100 cmまで		1000 円
120サイズ	120 cmまで		1200 円

・どのサイズも、「重さ」が「20 kg」までの荷物を送ることができます。

みつきさんは、図4のような箱を用意しました。荷物の重さが15 kgのとき、この箱のサイズは何サイズですか。下の1から4までの中から1つえらんで、その番号を書きましょう。

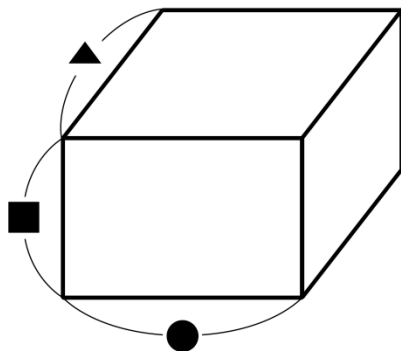


図3

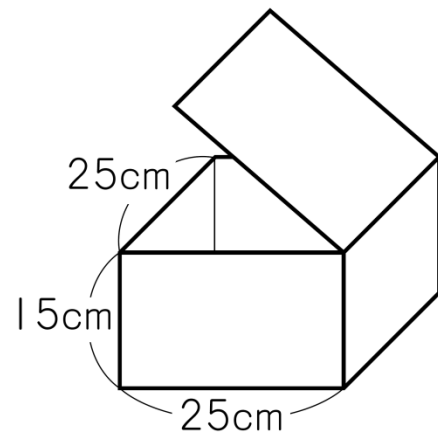


図4

- 1 60サイズ
- 2 80サイズ
- 3 100サイズ
- 4 120サイズ

- (3) たけしさんは、**図5**のような箱に作品を入れて、荷物を送ります。荷物の「3辺(**図3**の●と■と▲の位置の辺)の長さの合計」と「重さ」を調べると、次のようになりました。

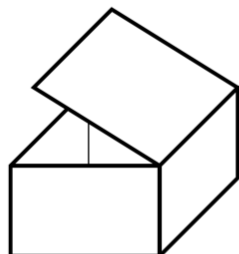


図5

【3辺の長さの合計】 75cm
【重さ】 5.4kg

たけしさんは、会場までの荷物の送料を、西社についても調べてみました。西社の送料は、下の表のようになっていました。

会場までの荷物の送料(西社)

サイズ	3辺の長さの合計	重さ	送料
60サイズ	60cmまで	2kgまで	500円
80サイズ	80cmまで	5kgまで	700円
100サイズ	100cmまで	10kgまで	900円
120サイズ	120cmまで	15kgまで	1100円

・「3辺の合計」のサイズと「重さ」のサイズがちがったときは、大きいほうのサイズの送料になります。^{たと}例えば、「3辺の合計」が50cmで「重さ」が4kgの荷物の場合、80サイズの送料になります。

たけしさんの荷物を送るとき、東社、西社のどちらから送ると送料が安くなりますか。下の**1**と**2**から正しい方をえらんで、その番号を書きましょう。また、その番号をえらんだわけを言葉と数を使って書きましょう。

1 東社

2 西社

【関連するワークシート】

平成19年度～26年度 全国学力・学習状況調査問題より作成したワークシート23番

<小学校3年生>

23 宅配便（数と計算、量と測定、数量関係）

年 組 名前

まなみさんとひできさんは、となりの県の友だちに、本を宅配便で送ることにしました。

となりの県までの宅配便の送料を調べると、下の表のとおりでした。

となりの県までの宅配便の送料

荷物サイズ	3 辺の合計(※ 1)	重さ	送料(※ 2)
60 サイズ	60 cm まで	2 kg まで	600 円
80 サイズ	80 cm まで	5 kg まで	800 円
100 サイズ	100 cm まで	10 kg まで	1000 円
120 サイズ	120 cm まで	15 kg まで	1200 円

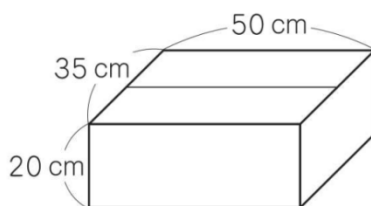
ご利用上の注意

※ 1 「3 辺の合計」とは、直方体の箱のたて、横、高さをたした長さです。

※ 2 送料は、「3 辺の合計」の荷物サイズと「重さ」の荷物サイズのどちらか大きいほうの荷物サイズの送料になります。

(1) まなみさんは、下のような直方体の箱を準備しました。下の箱の「3 辺の合計」は何 cm ですか。答えを書きましょう。

また、このときに「3 辺の合計」だけで考えると、荷物サイズは何サイズですか。答えを書きましょう。



平成 23 年度全国学力・学習状況調査小学校数学 B 1 問題より

3 辺の合計	荷物サイズ
(1) 105 cm	(120) サイズ

送料
1000 円

考え
(例)
3 辺の合計は 75 cm なので、荷物サイズは 80 サイズです。 重さは 8.6 kg なので、荷物サイズは 100 サイズです。 送料は、どちらか大きいほうの荷物サイズの送料になるので、1000 円です。

【第5学年 第1回 4（1）の問題】

4 さくらさんの家族は、友達の家族といっしょに、となりの市にあるキャンプ場に行くことになりました。

(1) さくらさんの家族は、家の近くのA駅から電車に乗って、キャンプ場の近くのB駅まで行きます。

下の表は、A駅の、B駅方面行きの時刻表の一部です。

最も早く出発する電車は、午前6時ちょうどに発車します。
その次の電車は、午前6時30分です。



さくら

時こく (午前) 行先	6	7	8	9	10
B 駅	0	0	0	0	10
		20	20		
	30		40	30	30
		40		50	50

さくらさんは、友達の家族とB駅で午前10時30分に集合することになっています。

さくらさんの家からA駅までは、歩いて20分で到着でき、A駅からB駅までは、電車で30分かかります。

さくらさんの家族が午前9時に家を出て歩いてA駅まで向かうとき、集合時間までにB駅に着くためには、午前何時何分に発車する電車に乗ればよいですか。その時刻を、「午前」をつけてすべて書きましょう。

【関連するワークシート】
平成26・27年度 第3学年 B量と測定（時刻や時間の計算）
「どれだけかかるか考えよう」

<小学校3年生>

解答例

量と測定（時刻や時間の計算）

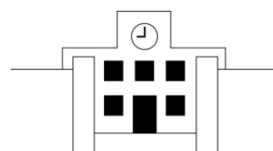
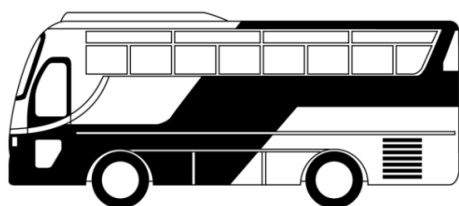
どれだけかかるか考えよう

年 組 名前

みつるさんは、家と学校を往復するのに行きも帰りもバスをつかうと30分かかります。

もし、行きも帰りも全部歩いたとすると、1時間30分かかります。

では、行きは歩いて、帰りはバスを使うと、どれだけかかるでしょうか。



答え 60分（1時間）

答えを見つけた方法を書きましょう。

まず、バスと歩きで片道にかかる時間を求める。

バスは行きと帰りで30分かかるのだから、片道にかかる時間は、 $30 \div 2 = 15$ で、15分かかる。

歩きだけでは、行きと帰りで1時間30分かかるのだから、1時間30分=90分、片道にかかる時間は、 $90 \div 2 = 45$ で、45分かかる。

だから、バスで片道にかかる時間と歩きで片道にかかる時間をたして、 $45 + 15 = 60$ で60分（1時間）かかることがわかる。

【ここをチェック】

- ・歩きの時にかかる1時間30分を90分になおしていますか。
- ・バスと歩きの片道にかかる時間を求める式を書いていますか。
- ・バスと歩きで片道にかかる時間をあわせていますか。

【第5学年 第2回 5（1）の問題】

- 5 たけしさんとめぐみさんは、理科の勉強でめだかの観察をするために、めだかを買に行きました。お店の人が1びき200円のめだかを1びきにつき20円安くしてくれるというので、ふたりとも、6びきずつ買うことにしました。たけしさんとめぐみさんは、次のように代金を計算しました。

たけしさんの計算のしかた



たけし

200×6で安くなる前のめだからびきのねだんを求めます。

安くなるねだんは、20×6で求められるので、

$$\begin{aligned}200 \times 6 - 20 \times 6 &= 1200 - 120 \\ &= 1080\end{aligned}$$

だから、めだからびきの代金は1080円です。

めぐみさんの計算のしかた



めぐみ

⑦ を求めます。

これを6びき買うので、

$$\begin{aligned}(200 - 20) \times 6 &= 180 \times 6 \\ &= 1080\end{aligned}$$

だから、めだからびきの代金は1080円です。

- (1) たけしさんの計算のしかたを参考にして、めぐみさんの計算のしかたの⑦に入る言葉と式を書きましょう。

【関連するワークシート】

平成 26・27・28 年度第 4 学年 D 数量関係（式による表現）

「問題を読んで、1 つの式を表しましょう」

< 小学校 4 年生 >

解答例

< 小学校 4 年生 >

数量関係（式による表現）

問題を読んで、1 つの式に表しましょう

年 組 名前

1 問題に合う式を の中の㉠、㉡、㉢、㉣、㉤から選んで、記号で答えましょう。

① 1 本 100 円のオレンジジュースを 10 本と、20 円のおかしを 1 つ買くと、代金はいくらでしょう。

式の記号→

㉣

② ジュースがどれも 1 本 100 円で売られています。グレープジュース 10 本とオレンジジュースを 20 本買くと、代金はいくらでしょう。

式の記号→

㉢

③ 1 本 100 円のグレープジュースを 10 本と、1 こ 20 円のガムを 10 こ買くと、代金はいくらでしょう。

式の記号→

㉡ か

㉤

㉠ $(100 + 10) + 20$

㉡ $100 \times 10 + 20 \times 10$

㉢ $100 \times (10 + 20)$

㉣ $100 \times 10 + 20$

㉤ $(100 + 20) \times 10$

2 次の問題を 1 つの式に表して、代金を求めましょう。

① 1 本 100 円のオレンジジュースが 10 円引きで売られています。30 本買くと、代金はいくらでしょう。

$$(100 - 10) \times 30 = 90 \times 30$$

$$= 2700$$

(答え) 2700 円

② 120 円のノートが 4 さつと、480 円の半分のねだんで売られているファイルを 1 つ買くと、代金はいくらでしょう。

$$120 \times 4 + 480 \div 2 = 480 + 240$$

$$= 720$$

(答え) 720 円

【ここをチェック】

- ・ 1 つの式に表していますか。
- ・ 式の中のひとまとまりを考えていますか。